

台風や洪水からの避難

令和元年東日本台風の際、狛江市では警戒レベル3避難準備・高齢者等避難開始及び警戒レベル4避難勧告を発令し、約4,000人の方が避難所へ避難をしました。避難情報や気象情報などの情報には様々な種類があり、あらかじめ、どの情報が重要かを確認しておく必要があります。

避難の必要性を確認する

自分の住んでいる場所や自分の状況によって、避難する必要性やタイミングが異なります。ハザードマップを確認し、マイ・タイムラインを作成するなど、自分や家族で避難について、よく考え、相談しておきましょう。

避難の必要性チェックシート

ハザードマップを用意して、いくつかの質問から自分の避難行動を確認しよう！

Q1 自宅は洪水浸水想定区域内ですか？

はい

Q2 自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内ですか？

いいえ

Q3 自宅には想定最大浸水深を上回る階がありますか？

避難の必要はありません。
自宅にとどまり、情報収集を行いましょう。大雨や強風のなか、外へ出ないようにしましょう。

原則立退き避難が必要です。
避難の方法を3面下部の家屋倒壊等氾濫想定区域に関する表でよく確認し、必ず早めに避難をしましょう。

立退き避難又は垂直避難が必要です。
ハザードマップを確認し、自宅の上階が安全な場合はその階へ垂直避難をしましょう。

安全な場所への立退き避難が必要です。
自宅には危険です。安全な場所にある知人・親戚宅や避難所などの安全な場所へ避難をしましょう。

警戒レベルと避難情報

どのレベルにどんな情報が発令されるのか、確認しましょう。

警戒レベル	避難情報等	危険度	とるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報	高	避難が済んでいない場合は、自宅のより高い場所へ移動するなど、自宅の中で命を守る最善の行動をとる。
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	▲	上のチェックシートを確認し、避難する必要がある場合は、必ず全員が危険な場所から避難をする。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始		高齢者や家族に小さな子どもがいる場合は危険な場所から避難を開始する。
警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報(気象庁発表)		避難の準備と避難行動の確認をする。
警戒レベル1	早期注意情報(気象庁発表)	低	気象情報をこまめに確認し、避難先の確認や、持ち出す物の確認をする。

狛江市では、多摩川の水位(石原水位観測所)や野川の水位(大沢池上観測所)などを基準にして、避難情報を発令します。これらの避難情報等の他にも、気象庁が発表する警戒レベル相当情報があります。マイ・タイムラインを作成し、自分はこの情報が出たら避難を開始するか、あらかじめ決めておきましょう。

自主避難所とは

小さな子どもがいる家族や高齢者など、避難に時間がかかる方などが避難勧告等の発令前に自主的に避難をする場所として開設する施設を自主避難所といいます。自主避難所へ避難する場合は、通常の避難と同様に、必要な食料品や飲料等を持って避難しましょう。(電子レンジやお湯が必要な食料品は控えましょう。)

避難＝避難所への避難ではありません

避難所は不特定多数の人が集まるため、プライバシーが制限されることや感染症へのリスクがあります。特に小さな子どもにとっては強いストレスを感じる環境です。また、狛江市の洪水浸水想定区域内に住んでいる人すべてを避難所だけで受け入れることはできません。安心した避難のためにも、知人や親戚宅など、避難所以外の安全な場所への避難を日頃から検討・相談しておきましょう。



ペットとの避難・車での避難

ペットにとって、多くの人が集まる避難所は強いストレスを感じる環境です。大切なペットを守るため、可能な限り避難所以外の安全な避難先を日頃から検討しておきましょう。避難所では、飼い主が持参したケージに入れたペットの同行避難スペースを設定しています。災害時に混乱なく避難するため、落ち着いてケージに入れる訓練をしておきましょう。また、洪水などの危険が迫っている状況では、車での避難はかえって危険ですが、一時避難(車中泊含む)を検討される方のために、ユニディ狛江店とニトリ狛江ショッピングセンターの駐車場を避難場所として開設します(車だけの駐車はできません)。



避難するとき大切なポイント

- 上履きやスリッパ、靴を入れる袋を用意しましょう！
避難所として指定している施設は体育館や小・中学校の校舎などが中心であるため、上履きやスリッパのほか自分の靴を入れる袋を用意する必要があります。
- 雨具を入れる袋、タオルも必要です！
水害時には、避難の際に雨で濡れることが考えられるので、雨具を入れる袋やタオルなども必要です。避難所へ避難する場合は、必ず非常用持出品に追加しておきましょう。
- 避難所運営にご協力をお願いします！
避難所の運営は狛江市の職員だけでなく、地域の方や避難した方全員が協力して行います。避難後に体力のある方は、避難所の運営にご支援、ご協力をお願いします。

